

算数オンライン塾 12月15日の問題 解説

(1) 最初に切り取られる正方形の1辺の長さは、長方形の横の長さに等しいので、 $23 \div 4 = 5 \cdots 3$ ですから、1辺が4cmの正方形が5個と、たて3cm、横4cmの長方形が残ります。したがって次の正方形の1辺の長さは3cmになり、これが2番目に長くなります。

(答え) 3cm

(2) たて3cm、横4cmからは1辺が3cmの正方形が1つとれ、残るのは横1cm、たて3cmの長方形ですから、1辺が1cmの正方形が3つとれます。したがって合計は5個+1個+3個=9個です。

(答え) 9個